

2021年度
Q2累計決算説明及び
業績予想修正（下期）説明資料

2021年11月9日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2021年度Q2累計 連結決算概況	
1. 総括	P3
2. 収支の状況	P4
3. 財務の状況	P12
4. 資源セグメントの状況	P16
II. 2021年度下期業績予想修正	
1. 総括	P17
2. 8/10公表比較	P19
3. 下期及び配当予想の考え方	P20
III. ステークホルダー(ESG)目線への対応	P23
1. 2021年Q2時点での対応状況	P23
2. 第12次中期経営計画進捗状況	P25
IV. 2021年度 感応度	P26

I. 2021年度Q2累計 連結決算概況

1. 総括

- (P6) 8/10公表比較で、Q2(7~9月)は、資源が若干下振れたものの、環境・リサイクル、電子部材・機能材料、その他の上振れで、営業利益は2.6億円の上振れとなり、ほぼ8/10公表値並みで着地しました。一方、非鉄スラグ処理の前倒しやCBHヘッジ評価損計上（期末に向け解消予定）により、営業外損益が6億円強下振れたため、経常利益は3.5億円の下振れ、純利益は3.2億円の下振れとなりました。
- この結果、Q2累計では下記のとおり、営業利益54.3億円、経常利益は46.2億円、純利益38.1億円と、下期のコスト前倒し影響を考慮すれば、ほぼ8/10上期公表値並みで着地しました。

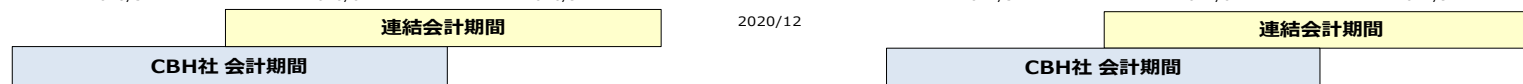
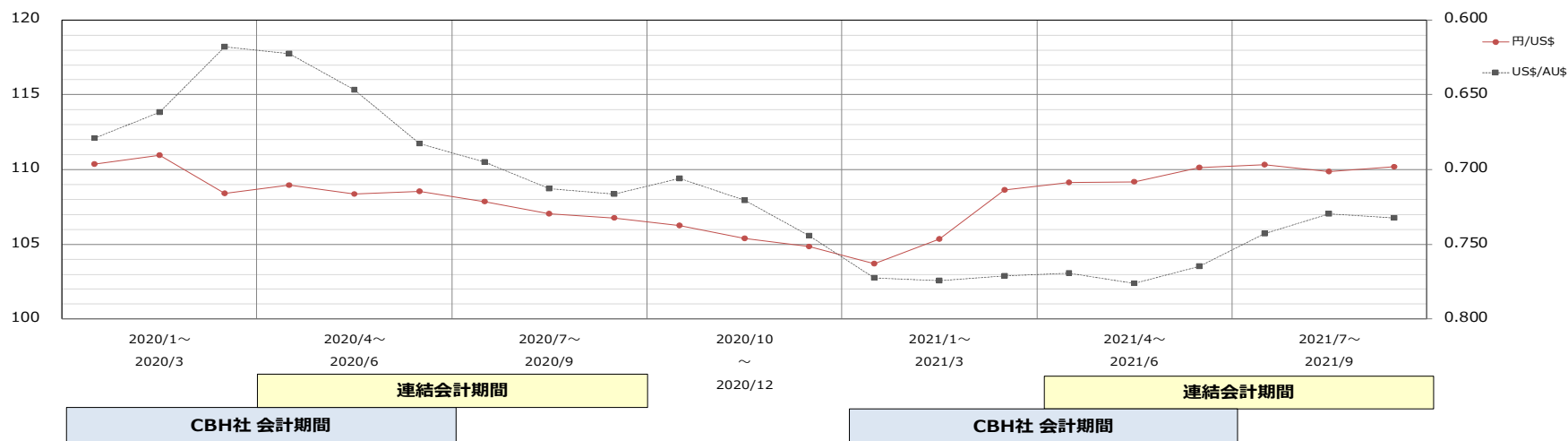
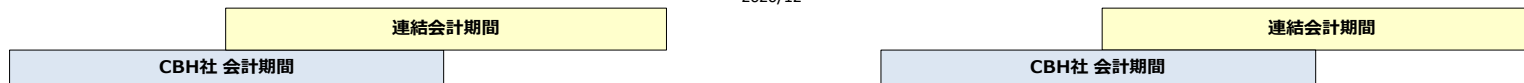
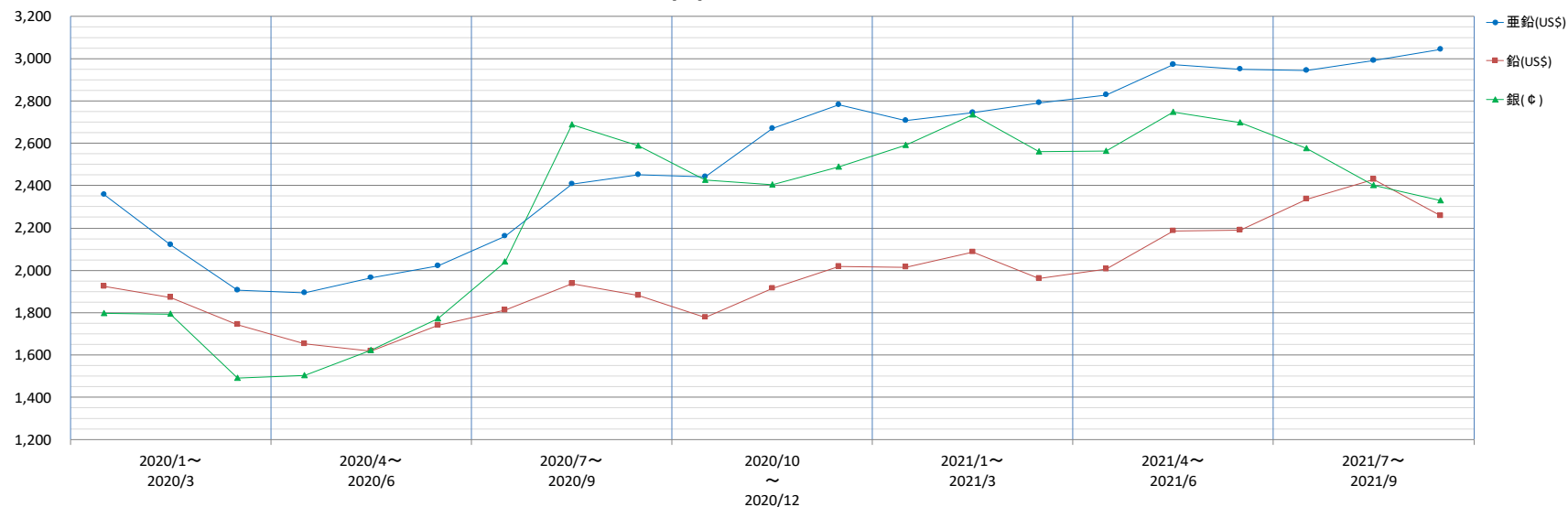
<上期収支>

単位:億円

	当初予想 (5/13公表)	修正予想 (8/10公表)	実績 (11/9公表)
連結売上高	550	567	578
連結営業利益	25.0	51.8	54.3
連結経常利益	21.0	49.7	46.2
連結純利益	16.0	41.4	38.1

2. 収支の状況

(1) 市況推移



2. 収支の状況

(2)8/10公表比較(市況・生産量)

		予想 (8/10公表)		実績 (11/9公表)		Q2 (B)-(A)	同左 (%)
		上期	内Q2 (A)	上期	内Q2 (B)		
市況	亜鉛(米\$/t)	2,758	2,600	2,954	2,991	391	15
	鉛(米\$/t)	2,064	2,000	2,234	2,341	341	17
	銀(米\$/toz)	25.3	24.0	25.5	24.4	0.4	1
	円/米\$	107.2	105.0	109.8	110.1	5.1	5
	米\$/豪\$	0.771	0.767	0.773	0.770	0.003	0
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	44.0	19.8	44.8	20.7	0.9	4
	鉛製品(千t)	47.7	24.4	46.3	22.9	▲1.5	▲6
	電気銀(t)	179	102	153	76	▲26	▲26
資源セグメント CBH社関連(1-6月)	粗鋅処理量(千t)	226	115	223	111	▲3	▲3
	亜鉛精鋅生産量(千dmt)	23.9	12.8	22.8	11.7	▲1.0	▲8
	鉛精鋅生産量(千dmt)	9.7	4.6	10.8	5.6	1.1	24

2. 収支の状況

(3)8/10公表比較(収支)

			予想 (8/10公表)		実績 (11/9公表)		Q2 (B)-(A)
			上期	内Q2 (A)	上期	内Q2 (B)	
売上高(億円)			567	281	578	293	12
営業利益(億円)	製錬		36.0	11.0	36.0	11.0	0.0
		在庫評価損益	12.8	5.5	11.1	3.8	▲1.7
		上記以外	23.2	5.5	24.8	7.2	1.7
	環境・リサイクル		8.2	3.5	9.4	4.7	1.2
	資源		4.5	2.1	3.5	1.1	▲1.0
	電子部材・機能材料 ※		2.4	0.7	3.3	1.6	0.9
	その他		3.2	1.2	4.4	2.4	1.2
	調整額		▲2.4	▲1.3	▲2.3	▲1.2	0.1
	計		51.8	17.2	54.3	19.8	2.6
	経常利益(億円)			49.7	15.0	46.2	11.5
純利益(億円)			41.4	11.9	38.1	8.6	▲3.2
EBITDA(億円)			73.4	28.2	75.8	30.6	2.5

※ 従来の「電子部材SEG」を、当社10年ビジョン戦略をふまえ、「電子部材・機能材料SEG」へ名称変更しております。

2. 収支の状況

(4)第2Qの状況(市況・生産量)

		第1Q	第2Q	上期
市況	亜鉛(米\$/t)	2,916	2,991	2,954
	鉛(米\$/t)	2,127	2,341	2,234
	銀(米\$/toz)	26.7	24.4	25.5
	円/米\$	109.5	110.1	109.8
	米\$/豪\$ (1-6月)	0.776	0.770	0.773
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	24.2	20.7	44.8
	鉛製品(千t)	23.3	22.9	46.3
	電気銀(t)	77	76	153
資源セグメント CBH社関連(1-6月)	粗鋅処理量(千t)	112	111	223
	亜鉛精鋅生産量(千dmt)	11.1	11.7	22.8
	鉛精鋅生産量(千dmt)	5.1	5.6	10.8

2. 収支の状況

(5)第2Qの状況(収支)

			第1Q	第2Q	上期
売上高(億円)			286	293	578
営業利益(億円)	製錬		25.0	11.0	36.0
		在庫評価損益	7.3	3.8	11.1
		上記以外	17.7	7.2	24.8
	環境・リサイクル		4.7	4.7	9.4
	資源		2.4	1.1	3.5
	電子部材・機能材料		1.7	1.6	3.3
	その他		2.0	2.4	4.4
	調整額		▲1.1	▲1.2	▲2.3
	計		34.6	19.8	54.3
	経常利益(億円)			34.7	11.5
純利益(億円)			29.5	8.6	38.1
EBITDA(億円)			45.2	30.6	75.8

2. 収支の状況

(6)前年同期比較(市況・生産量)

		前年同期	Q2累計	差(実額)	差(%)
市況	亜鉛(米\$/t)	2,150	2,954	804	37
	鉛(米\$/t)	1,773	2,234	461	26
	銀(米\$/toz)	20.4	25.5	5.2	25
	円/米\$	106.9	109.8	2.9	3
	米\$/豪\$(1-6月)	0.658	0.773	0.115	18
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	41.7	44.8	3.1	8
	鉛製品(千t)	48.6	46.3	▲2.4	▲5
	電気銀(t)	170	153	▲17	▲10
資源セグメント CBH社関連(1-6月)	粗鋳処理量(千t)	318	223	▲95	▲30
	亜鉛精鋳生産量(千dmt)	23.6	22.8	▲0.8	▲3
	鉛精鋳生産量(千dmt)	12.0	10.8	▲1.2	▲10

2. 収支の状況

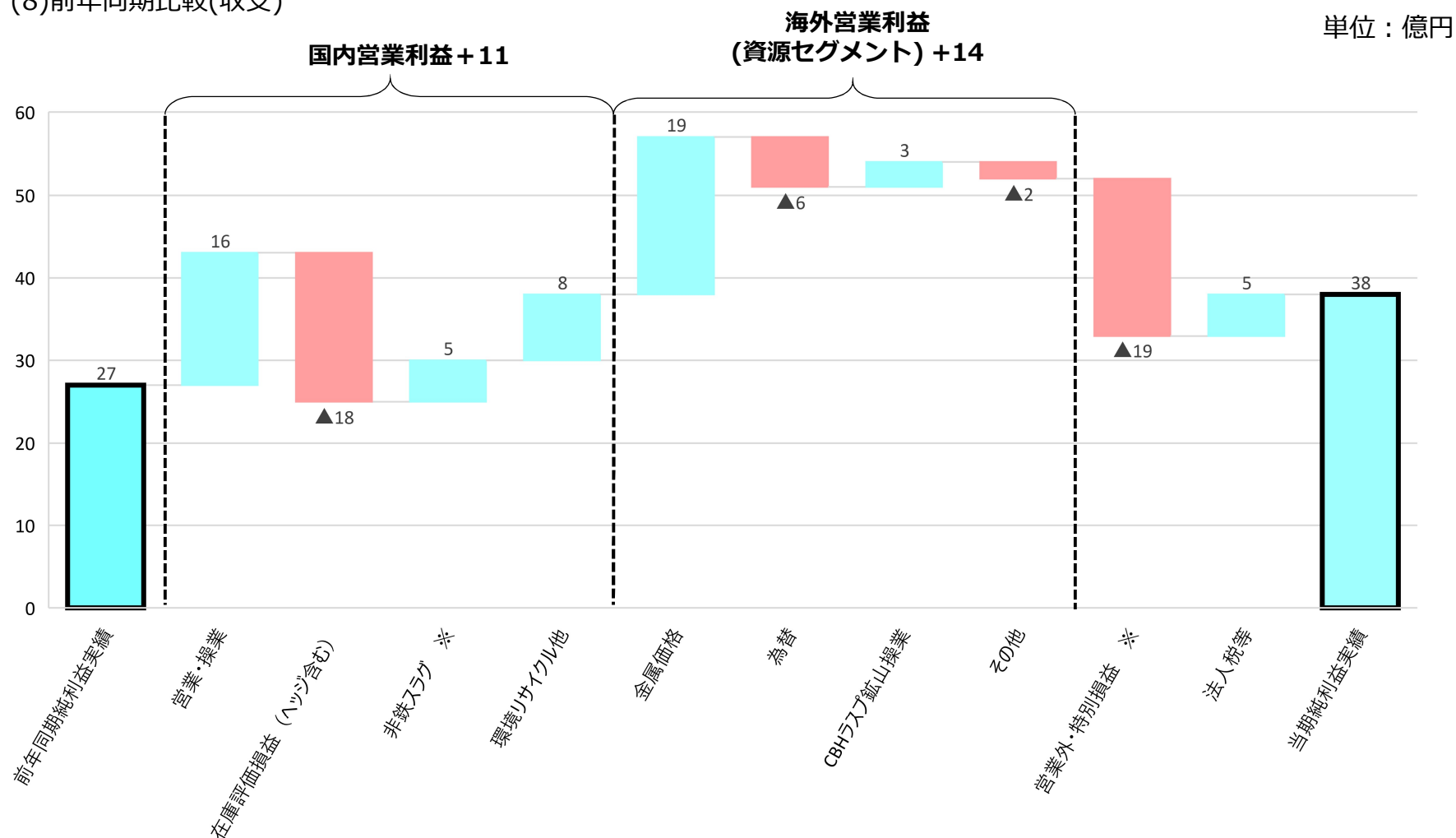
(7)前年同期比較(収支)

営業利益は資源、環境・リサイクルの増益により24.6億円の増益となるも、経常利益は、為替差損益、非鉄スラグ処理の前倒し、CBHヘッジ評価損計上により営業外損益が悪化し、12.3億円の増益と営業利益の半分の増益幅となりました。純利益は、経常利益増益幅からは若干悪化し、11.1億円の増益となりました。

		前年同期	Q2累計	差額	
売上高(億円)		452	578	126	
営業利益(億円)	製錬	在庫評価損益	34.7	36.0	1.3
		上記以外	29.0	11.1	▲17.9
	環境・リサイクル	5.7	24.8	19.1	
	資源	2.9	9.4	6.6	
	電子部材・機能材料	▲11.0	3.5	14.4	
	その他	1.0	3.3	2.4	
	調整額	4.0	4.4	0.5	
	計	▲1.8	▲2.3	▲0.5	
	計	29.8	54.3	24.6	
経常利益(億円)		33.9	46.2	12.3	
純利益(億円)		27.0	38.1	11.1	
EBITDA(億円)		53.6	75.8	22.3	

2. 収支の状況

(8)前年同期比較(収支)



※非鉄スラグ処理費用は、2020年度Q2累計5.2億円（全額営業費用計上）→2021年度Q2累計3.8億円（全額営業外費用計上→2020年度Q3から勘定科目変更）

3. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

		2021年3月末 実績	2021年9月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金	59	56	▲4
	受取手形・売掛金	155	179	24
	棚卸資産	331	424	93
	その他	25	62	37
	計	570	720	150
固定資産	有形固定資産	360	358	▲2
	内CBH社関係 (豪\$百万表示)	65	65	▲0
		(82)	(78)	(▲4)
	無形固定資産	102	113	12
	内CBH社関係 (豪\$百万表示)	101	113	12
		(128)	(135)	(7)
	投資その他	105	137	32
計	567	608	41	
資産 合計		1,136	1,328	191

3. 財務の状況

(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

		2021年3月末 実績	2021年9月末 実績	差(実額)	
負債の部	支払手形・買掛金	62	68	5	
	有利子負債	CP	20	130	110
		短期 借入金	239	237	▲2
		長期 借入金	240	271	31
		有利子負債計	499	638	139
	その他負債	161	157	▲3	
	計	722	863	141	
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金・自己株式	98	98	0
		利益剰余金	76	107	31
		株主資本 計	320	352	31
	その他包括利益累計額	94	113	19	
	計	415	465	50	
負債・純資産 合計		1,136	1,328	191	

3. 財務の状況

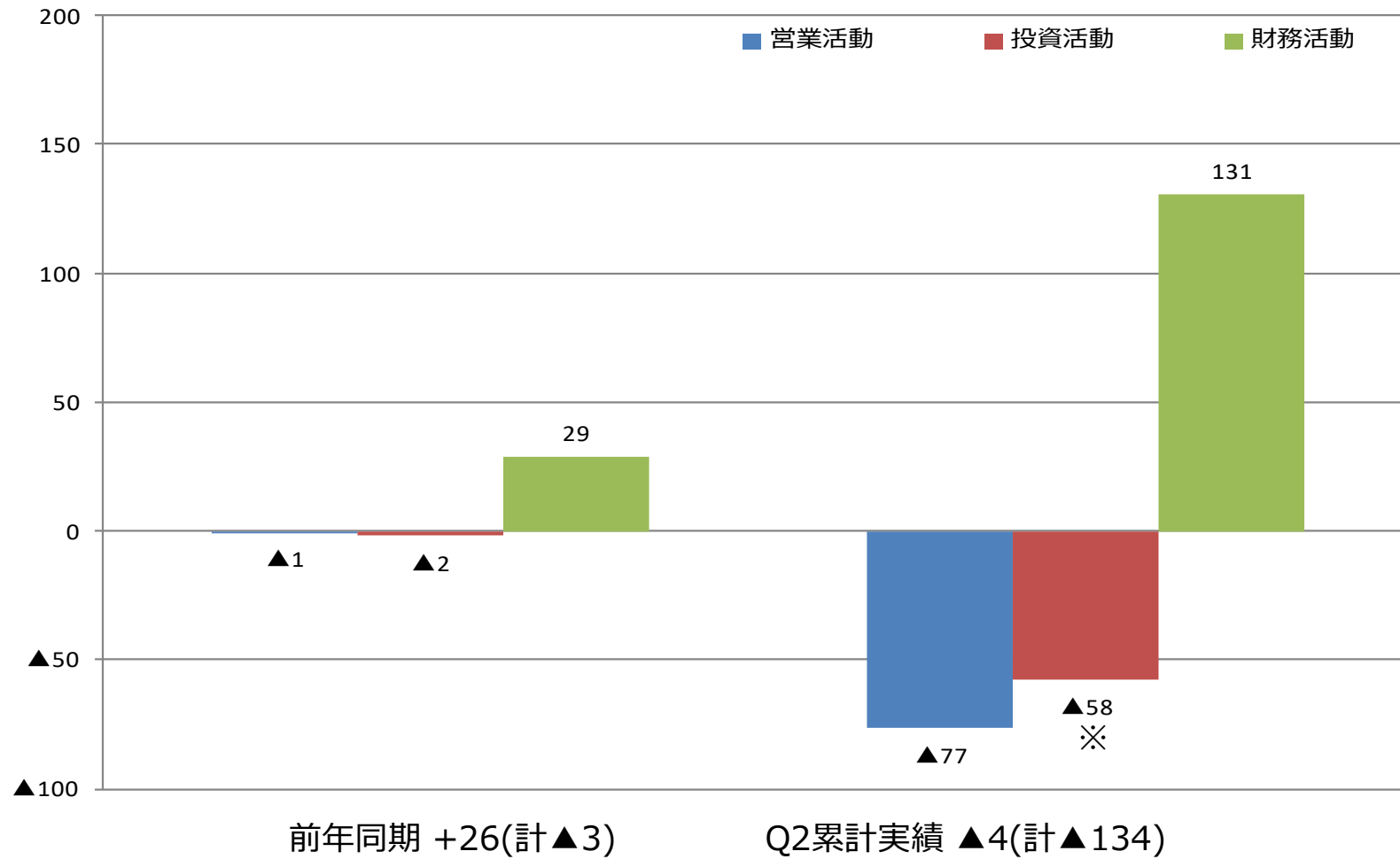
(2)主要財務指標の変化

	前年同期	Q2累計	評価
自己資本比率	30.0%	35.0%	改善
D/Eレシオ	1.64倍	1.37倍	改善
D/EBITDAレシオ (年換算)	5.5倍	3.9倍	改善
ROIC (投下資本利益率) (年換算)	4.3%	6.8%	改善
ROE (自己資本利益率) (年換算)	14.9%	17.3%	改善
純利益/売上高	6.0%	6.6%	改善
売上高/総資産	0.7回転	0.9回転	改善
総資産/自己資本	3.3倍	3.0倍	減少

3. 財務の状況

(3) キャッシュ・フローの推移

単位：億円



※内33億円はCBH経由Abra鉱山向け出資分

4. 資源セグメントの状況

前年同期比+14.4億円
 ⇒内、CBH社営業利益+15.2億円
 (内、市況等他律要因+13.3億円)

- ①エンデバー鉱山（休山中によりメンテナンスコストのみ）
 前年同期比+0.7億円(内、市況等他律要因－億円)
 他律要因を除くと0.7億円の増益
- ②ラスプ鉱山
 前年同期比+16.1億円(内、市況等他律要因+13.3億円)
 他律要因を除くと2.8億円の増益。粗鉱品位改善による。
- ③その他（期ずれ等）
 前年同期比▲0.8億円⇒ほぼ期ずれ調整

単位：億円

利益(億円)		前年同期	Q2累計	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山(休山中)	▲3.3	▲2.5	0.7
	ラスプ鉱山	▲9.2	6.9	16.1
	子会社その他	0.2	▲1.4	▲1.6
	計	▲12.3	3.0	15.2
その他(期ずれ等)		1.3	0.5	▲0.8
資源セグメント利益		▲11.0	3.5	14.4

II. 2021年度下期業績予想修正

1. 総括

- 下期営業利益については、8/10公表比で増益要因と減益要因が交錯し、ほぼ相殺。増益要因は、市況影響で+10.8億円（製錬+7.3億円、資源+3.5億円）。減益要因は、電力代・コークス等の加工費増が▲10億円弱。営業外損益及び特別損益・法人税等については、CBH鉱山をヘッジした影響が下期に実現すること等もあり増益。その結果、下期3利益増益幅は、営業利益+0.7億円、経常利益+3.8億円、純利益+2.9億円の上方修正予想といたします。
- 結果として、通期では8/10予想比で、営業利益が3億円強の増益、経常利益・当期純利益はほぼ8/10予想比並みとしております。
- 足元半導体不足で自動車生産台数が大きく落ち込んでおり、一部メーカーの増産見込みもあるものの、当社の製品販売動向は予断を許さない状況です。可能な限りトップライン・ボトムラインに目配りして対応して参ります。

	5/13公表		※ (A)	8/10公表		11/9業績修正			(B) - (A)		
	上期 (予想)	下期 (予想)		上期 (予想)	下期 (予想)	(B)	上期 (実績)	下期 (予想)	上期	下期	
連結売上高	550	530	1,097	567	530	1,105	578	527	8	11	▲3
連結営業利益	25.0	29.0	80.8	51.8	29.0	84.0	54.3	29.7	3.2	2.6	0.7
連結経常利益	21.0	24.0	73.7	49.7	24.0	74.0	46.2	27.8	0.3	▲3.5	3.8
連結純利益	16.0	20.0	61.4	41.4	20.0	61.0	38.1	22.9	▲0.4	▲3.2	2.9

※ラウンド調整前数値

2.8/10公表比較

(1)市況・生産量

		8/10公表			11/9業績修正			8/10公表比差分		
		上期 (予想)	下期 (予想)	上期 (実績)	下期 (予想)	上期影響	下期影響			
市況	亜鉛(米\$/t)	2,679	2,758	2,600	3,077	2,954	3,200	398	196	600
	鉛(米\$/t)	2,032	2,064	2,000	2,217	2,234	2,200	185	170	200
	銀(米\$/toz)	24.7	25.3	24.0	24.8	25.5	24.0	0.1	0.2	0.0
	円/米\$	106.1	107.2	105.0	109.9	109.8	110.0	3.8	2.6	5.0
	米\$/豪\$	0.769	0.771	0.767	0.762	0.773	0.750	▲0.008	0.002	▲0.017
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	90.8	44.0	46.8	91.7	44.8	46.8	0.9	0.9	0.0
	鉛製品(千t)	89.8	47.7	42.1	88.4	46.3	42.1	▲1.5	▲1.5	0.0
	電気銀(t)	344	179	165	318	153	165	▲26	▲26	0
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鋅処理量(千t)	450	226	224	444	223	221	▲7	▲3	▲3
	亜鉛精鋅生産量(千dmt)	47.0	23.9	23.1	45.1	22.8	22.3	▲1.9	▲1.0	▲0.8
	鉛精鋅生産量(千dmt)	21.6	9.7	11.9	22.7	10.8	12.0	1.1	1.1	0.0

2.8/10公表比較

(2)収支

		8/10公表			11/9業績修正			8/10公表比差分			
		※	上期 (予想)	下期 (予想)		上期 (実績)	下期 (予想)		上期影響	下期影響	
売上高 (億円)		1,097	567	530	1,105	578	527	8	11	▲3	
営業利益 (億円)	製錬		47.0	36.0	11.0	45.0	36.0	9.0	▲2.0	▲0.1	▲2.0
		在庫評価損益	14.5	12.8	1.7	12.8	11.1	1.7	▲1.7	▲1.7	▲0.0
		上記以外	32.5	23.2	9.3	32.2	24.8	7.4	▲0.3	1.6	▲1.9
	環境・リサイクル	14.2	8.2	6.0	17.0	9.4	7.6	2.8	1.2	1.6	
	資源	15.0	4.5	10.5	16.0	3.5	12.5	1.0	▲1.0	2.0	
	電子部材・機能材料	4.4	2.4	2.0	5.0	3.3	1.7	0.6	0.9	▲0.3	
	その他	5.7	3.2	2.5	6.0	4.4	1.6	0.3	1.2	▲0.9	
	調整額	▲5.4	▲2.4	▲3.0	▲5.0	▲2.3	▲2.7	0.5	0.2	0.3	
	計	80.8	51.8	29.0	84.0	54.3	29.7	3.2	2.6	0.7	
経常利益 (億円)		73.7	49.7	24.0	74.0	46.2	27.8	0.3	▲3.5	3.8	
純利益 (億円)		61.4	41.4	20.0	61.0	38.1	22.9	▲0.4	▲3.2	2.9	
EBITDA (億円)		124.4	73.4	51.0	127.5	75.8	51.7	3.1	2.5	0.7	

※ラウンド調整前数値

3. 下期及び配当予想の考え方

(1)市況・生産量

		Q1実績 (A)	Q2実績 (B)	下期予想 (C)	通期前提 (A+B+C)
市況	亜鉛(米\$/t)	2,916	2,991	3,200	3,077
	鉛(米\$/t)	2,127	2,341	2,200	2,217
	銀(米\$/toz)	26.7	24.4	24.0	24.8
	円/米\$	109.5	110.1	110.0	109.9
	米\$/豪\$(1-12月)	0.776	0.770	0.750	0.762
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	24.2	20.7	46.8	91.7
	鉛製品(千t)	23.3	22.9	42.1	88.4
	電気銀(t)	77	76	165	318
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鋅処理量(千t)	112	111	221	444
	亜鉛精鋅生産量(千dmt)	11.1	11.7	22.3	45.1
	鉛精鋅生産量(千dmt)	5.1	5.6	12.0	22.7

3. 下期及び配当予想の考え方

(2) 収支

		Q1実績 (A)	Q2実績 (B)	下期予想 (C)	通期予想 (A+B+C)
売上高 (億円)		286	293	527	1,105
営業利益 (億円)	製錬	25.0	11.0	9.0	45.0
	在庫評価損益	7.3	3.8	1.7	12.8
	上記以外	17.7	7.2	7.4	32.2
	環境・リサイクル	4.7	4.7	7.6	17.0
	資源	2.4	1.1	12.5	16.0
	電子部材・機能材料	1.7	1.6	1.7	5.0
	その他	2.0	2.4	1.6	6.0
	調整額	▲1.1	▲1.2	▲2.7	▲5.0
	計	34.6	19.8	29.7	84.0
	経常利益 (億円)		34.7	11.5	27.8
純利益 (億円)		29.5	8.6	22.9	61.0
EBITDA (億円)		45.2	30.6	51.7	127.5

3. 下期及び配当予想の考え方

(3)資源セグメント

利益(億円)		Q1実績 (A)	Q2実績 (B)	下期予想 (C)	通期予想 (A+B+C)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山(休山中)	▲1.0	▲1.5	▲2.1	▲4.6
	ラスブ鉱山	3.4	3.5	16.8	23.7
	子会社その他	▲0.7	▲0.7	▲2.9	▲4.3
	計	1.6	1.4	11.8	14.8
その他(期ずれ等)		0.8	▲0.3	0.7	1.2
資源セグメント利益		2.4	1.1	12.5	16.0

(4)配当

現状、世界経済はコロナ禍からの回復局面にあるものの、金属相場のボラティリティの高さや、資材価格の高騰、サプライチェーンの目詰まりによる減産影響等、引き続き多くの不確定要因を抱えております。このような状況においては、引き続き下期業績の見極めの必要があることから、今回は配当予想を据え置き(@50円)とし、今後の業績予想修正の状況をにらみながら、必要に応じて第3四半期業績発表時を目途に総合的判断を行う予定です。

Ⅲ. ステークホルダー（ESG）目線への対応

1. 2021年Q2時点での対応状況

(1) E（環境）

- 2021/6/29、技術・開発本部にカーボンニュートラル室を新設。今後、温暖化ガス（CO₂）排出量の削減・ニュートラル化の目標設定及び対応施策構築・実施を行う。
- 2019/8/9（2019Q1）に公表した安中製錬所の非鉄スラグ処理については、監督行政・地域住民の皆様等、関連ステークホルダーと緊密に連携をとりつつ、処理を遂行中（当初の費用負担の範囲内で推移）。

(2) S（社会）

- 鉱石輸入等に関し、サプライヤーの人権問題等チェック。
- 新型コロナ対応として在宅勤務推進を推進しつつ、従業員のワークライフバランスにも配慮。

1. 2021年Q2時点での対応状況

(3) G（企業統治）

- 取締役会構成を社内：社外 = 3名：3名（従来4名：2名）とし、社外目線による牽制機能を強化。
- 取締役会の多様性強化推進をスキルマトリックスにて開示(女性取締役選任によるジェンダー多様化、各取締役専門領域のバランス・シナジー配慮等)。
- ハードルレートとしての、ROICに対応するWACC、ROEに対応する株主資本コストについては、2021/5/13（2021年度業績予想公表）後に社内で設定し実績とのモニタリング実施中。

(4) 2021年度ESG報告書の位置づけ

- 2020年度に従来の環境報告書を、よりステークホルダー視点を反映したESG報告書へ衣替え。
- 2021年度版（ESG報告書2回目）は2022年度に統合報告書初回リリースに向けてのつなぎのレポートの位置づけ。社内で統合報告書Pチーム組成し2022年度Q1以降でのリリースに向け準備中。
- TCFD提言に関しては、来年春頃に具体的な数値目標を提示するべく、社内で鋭意検討中。

2. 第12次中期経営計画進捗状況

(1) 市況リスクテークの適正化

- 市場リスク管理委員会を月次開催し、製錬SEGの先入先出・低価法・買鉱条件由来リスク、資源SEGの鉱山精鉱出荷時の市況リスク等、定量化を行い、自己資本・決算への影響をモニタリング中。
- 鉱山ポートフォリオの適正化に関しては、新規案件のAbra鉱山への出資は完了し、2022年末粗鉱採掘開始目指しプロジェクト進行中。

(2) 川下事業の強化

- 2021/6/29、技術・開発本部の開発部増強（新事業創造Labo創設）、高純度電解鉄、資源リサイクル、電池材料、の3テーマに当面取り組む。2021/8/10、（株）アサカ理研と、廃リチウムイオンバッテリーのリサイクルに関し共同研究開始を公表するなど、着実に進行中。

(3) 製錬事業の基盤強化

- 安中製錬所の焙焼硫酸・第2電解設備の停止（減損費用計上は2020年度計上済み）による亜鉛製錬設備の重複機能廃止により、コンパクト化へのプロセスを進める。
- 契島製錬所の扱う鉛・銀製錬は、当社10年ビジョンでもコア業務の位置づけであり、競争力強化のための具体策検討開始。

IV. 2021年度 感応度

	変動幅	2020年度試算		2021年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10 / t	¥41百万	¥27百万 (豪\$400千)	¥27百万	¥12百万 (豪\$146千)	▲¥14百万	▲¥15百万 ▲(豪\$254千)
鉛	\$10 / t	¥21百万	¥16百万 (豪\$250千)	¥13百万	¥8百万 (豪\$94千)	▲¥8百万	▲¥8百万 ▲(豪\$156千)
円/米\$	1円 / 米\$	¥82百万	—	¥87百万	—	+¥5百万	—
米\$/豪\$	0.01	豪\$0.7百万	同左	豪\$0.9百万	同左		同左

- 上記感応度の対象は先入先出影響を除いた市況影響。具体的には鉱山（上記前提はラスプ鉱山50%ヘッジ）及び製錬のフリーメタル等。
- 円換算は79.0円/豪\$を使用
- 全体としてエンデバー鉱山休山及びラスプ鉱山減産に伴い前年度比影響額減少